



防災学習センターで暴風・地震・煙体験！

4年生の防災プロジェクトの一環として、豊田市防災学習センターへ校外学習に行ってきました。今回の目的は、プロジェクトで立てた問いを調べることに加えて、実際の体験を通して「防災の大切さ」を身をもって感じることです。

子どもたちは、これまでの学習で地震や災害について調べてきましたが、「実際に体験してみるとどう感じるのだろうか？」という思いを胸にバスに乗り込みました。

センターでは、暴風体験・地震体験・煙体験などのプログラムに挑戦しました。強風で身体が押し戻される感覚や、地震の激しい揺れ、煙で前が見えない怖さ——どの体験も、映像や言葉だけでは分からない“現実の厳しさ”を感じさせるものでした。

「本当の地震だったら、どうやって家族を守る？」「煙の中ではどのくらい見えなくなるんだろう？」といった声も聞こえ、子どもたちは想像を膨らませながら積極的に取り組んでいました。

また、施設の職員の方がとても熱心にお話をしてくださり、防災の仕組みや日頃の備えについて、わかりやすく教えてくださいました。今回の体験を通して、子どもたちは「知っている」から一歩進んで、「自分のこととして考える」大切さを実感しました。プロジェクトの今後の学びにも、きっと生きてくることと思います。

豊田市防災学習センターは、土日も一般向けに開館しています（毎週9:00～16:30、月曜日定休日）。ご家庭でもぜひ一度訪れてみてください。お子さんの学びを一緒に深めるよい機会になると思います。







